

フレンドシップ活動実施時の新型コロナウイルス感染拡大予防のための施策

【活動全体における施策】

- ・感染リスクを下げるため、屋外（グラウンド）にて活動を行います。
- ・こまめにアルコール消毒と手洗いを実施します。全体では、子ども受付、手などが接触する活動の前、終わりの会にアルコール消毒を行います。
- ・受付時は、密にならないように班ごとに会場を設置します。また、飛沫を防ぐため、透明シートを設置し、足跡シートで間隔を空けて並んでいただきます。
- ・お迎え時は、密にならないように班ごとに分かれて順次解散していただきます。
- ・マスクの着用を必須とします。マスクは学生・子ども共に各自で準備してもらいますが、予備として各活動場所に準備しておきます。
- ・はじまりの会や終わりの会の前後など班同士の間隔をグラウンドいっぱい広げることが困難な場合は、班同士を5～10mずつ空け、班をまたいだ感染リスクを下げます。
- ・グループ間をまたいだ交流は行いません。

【グループ活動における施策】

- ・はさみや黒マジックペンなど、準備する負担が少ないと判断したものは、原則、持参していただきます。ただし、万一忘れた時のため、運営側としては、予備を用意しております。この場合、子どもが使用した後の道具はアルコール消毒を行います。
- ・グループ全員で集合する際には、子ども同士の間を2m空けて座るようにします。その際、運動場でも距離感がつかめるよう、最前列の前と右端（または左端）の列の横に2mおきに目印の付いたロープ等を用意し、設置します。
- ・グループ全員で集合している場合は、子どもたちは基本的に学生の話や説明を聞くこととし、班をまたいだ交流は行いません。
- ・班内での感染リスクを下げるため、子ども同士は2m以上離れた状態で作る活動、遊ぶ活動を行うようにします。
- ・話し合い活動では、子ども同士が2メートル空けて座るようにし、スケッチブック等を使うことで飛沫感染を防ぎます。
- ・作る活動では、机とブルーシートをしいた上に置いたベニヤ板の2種類の場所で活動しますが、こちらも原則、同一人物が同じ場所で2m以上互いに距離を空け、対面しないように活動します。もし、机エリアとベニヤ板エリアを途中で交代する場合は、アルコール消毒を実施します。